



平成29年度 長地小学校 グランドデザイン

学校長のねがい
 行きも帰りも笑顔
 ○にっこりできる子
 ○しっかり励む子
 ○心身の丈夫な子

学校教育目標
 自己を見つめよく考え自分の力で生きていく子ども
具体目標
 一 よく考えやりぬく子ども
 二 仲よくみんなのためにつくす子ども
 三 いつも明るくじょうぶな子ども
 四 美しいものに感動しあこがれをもつ子ども

自立し、
 『岡谷市教育大綱』の
 一貫性
 を
 貫
 け
 る

おかや子育て憲章
 ・明るく元気で、健やかな子ども
 ・命を大切にし、感謝の心と
 思いやりのある子ども
 ・自ら求め、粘り強くやりぬく子ども
 ・行動に責任を持ち、ひとりだち
 のできる子ども
 ・力を合わせて人のためにつく
 し、郷土を愛する子ども

【職員の研鑽】

表現する子どもの育成をめざして
 ・話す・聞く・話し合う
 ペア、グループ等多様な学習形態を取り入れる

きめ細やかな支援と評価を行う
 ・学年会で教科学習を深め、授業改善に努める
 ・手づくり単元学習の魅力的な展開と実践化を図る

自分に自信がもてる子どもの育成をめざして
 ・個に寄り添った支援を行う
 ・自ら動ける場を作り、自尊感情を高める
 ・発達障害の研修を行い、連携を図る
 ・授業のユニバーサルデザイン化を図る

本年度の重点目標
 <合い言葉>
けんこうで
あいさつ おしごと おべんきょう

【家庭教育】

教育指導の重点・基本
 ◇基本的な生活習慣の確立
 ①自分から挨拶、呼ばれたら返事
 ②健康な体づくり
 ・早寝 早起き 朝ご飯
 ・よくかんで・歯みがき(「歯みがきカレンダー」)
 ・歩いて登下校
 ③はき物をそろえる
 ④うち読でエコ読 第3日曜日(うち読でエコ読の日)
 ・家庭で親子で読書をする。
 ◇基本的な学習習慣の確立(「家庭学習の手引き」)
 ⑤決めた時刻に自分から始める
 ⑥必要なものを準備し片付ける
 ⑦丁寧に、きちんと行う
 ◇家族でのコミュニケーションの充実
 ⑧親子の会話を密にする
 ⑨丁寧な言葉遣い

子どもの姿	進んでからだをきたえる子	にこやかなあいさつ・返事・言葉	しっかりおしごとする子	しっかりおべんきょうする子
	自分の体を知る 健康に必要な知識や習慣を理解 自分の健康を自分で守る	友達に地域に 来客に先生に 場に 心じた 言葉遣い 話し方 聞き方	学級の係 や当番の 仕事 児童会・ 行事での 仕事 みんなの ために自分 のできる ことを行う	基礎学力 がについて 生活科・ 手づくり 単元学習 に熱中 言葉や文 章で表現 できる
教師の指導	★食育の推進 ○心身の健康への関心を高める ○食事の重要性を理解させる ○食品を選択する力をつけさせる ○マナーや社会性を身につけさせる ○食文化を継承させる ★保健指導 ○そしゃくと歯みがきの習慣を身につけさせる ○視力低下や肥満の防止 ○よい姿勢を意識させる ○望ましい生活習慣の知識と実践力を身につけさせる ★けが・病気の予防 ○危険予測・回避能力を身につけさせる ○インフルエンザ、ノロウイルス等の知識と予防法を身につけさせる ★体力づくり ○体を動かした外遊びを奨励する ○歩きによる登下校 ★困難を乗り越える心 ○達成感のある目標の持たせ方と解決の方法を工夫させる ○励ましと称賛	★挨拶 ○教師が笑顔での挨拶をさきがける ○「自分から」の意識を高める ・いつでも ・どこでも ・誰にでも ○その場にあった挨拶を身につける ★返事・聞き方・話し方 ○聞く姿勢づくりを行う ・姿勢、視線 ・相手意識(心) ○呼ばれたら「はい」の返事を徹底する ○自発的な挙手への支援をする ○日常的に「伝える」ことを意識して話をさせる ○適切な対人行動を指導する ・ソーシャルスキルトレーニング(SST) ・ピア・サポートプログラム(PSP) ★言葉 ○日常的な言葉遣いの継続的指導を行う(ふわふわ(あつたか)言葉) ○温かく明るい言葉の意識付けと継続的指導を行う ○友達を「○○さん」で呼ぶ指導をする	★教室で ○友達のために働く心地よさを体感させる ○「いっしょうけんめい」の心地よさを体感させる ○行為の価値付けをし、称賛し広める ★児童会・行事で ○自分たちのために働くよさを体感させる ○児童会活動を充実させ、発表の場を意識して設ける ○ペアでの活動＝確実な相手意識 ○他者との協調・協働の活動を仕組む ★清掃で ○無言清掃 ○気づき清掃 ○時間いっぱい清掃 の3重点目標を意識させ指導する	★基礎学力の定着 ○日々の授業の充実に努める ○県の3視点を意識した授業を行い、きちんと見返す ・ねらい ・めりはり ・見とどけ ○朝読書の充実 ○基礎基本の定着を図る学年統一したグングンタイムの活用 ★生活科、手づくり学習の充実・支援 ○伝統の版画を大切に ○地域素材の教材化に努める 岡谷スタンダードカリキュラム ○人、こと、ものとの出会いを大切に ★言語活動の充実 ○感じ取ったことを言葉や歌、絵、身体などで表現させる ○自分が話す習慣づくりをする ・自分の考え ・自分の言葉 ○「伝える」ことを意識させる ・言葉や表情・声量・相手 ○「聴く力」をつける ★開かれた学級づくり ○行きも帰りも笑顔 ○豊かな人間関係の構築
	研究	社会科部会 ○社会的な見方、考え方をはたらかせた学びになるような教材作り ○友との対話を通して、自分の考えを広げ深めることのできるような授業の工夫	道徳部会 ○道徳教科化に向けての取り組み ・評価 ・望ましい授業内容 ・年間計画等 ○児童一人ひとりが自らの生き方を考えることのできる授業のあり方 ○友の多様な考え方を知ることのできる授業	学力向上部会 ○学びを実感できる授業研究 ○CRT結果を活かした、授業力向上・家庭学習の工夫 ○グングンタイムの推進

・子どもの評価・家庭の評価・学校評議員・地域の評価 → 学校評価
 ねらいと方策(内容や重点・評価する場面)を連絡し、それについて評価 学校教育活動全般を評価
 ・幼保小連携 小中連携(岡谷東部中「未来を拓き、共に自立する生徒」…未来を拓く生徒 共に育つ生徒 自立する生徒)
 ・スクールセクハラ対策(相談窓口ー保健室)